

3 無線医療助言通信の実例

例1 急性胆のう炎、急性虫垂炎が疑われた事例

●第一通信受信：電子メール

△△漁船、乙種医療箱所持、55歳、男性、甲板長、作業時に急にみぞおちからへそまでが痛み出した。4日前より便秘で排便なし。その後浣腸したが硬い便が出たのみで、この日の夜中に激痛あり。この時点での症状は腹部痛で、特にへその上を押すと激痛があった。また、仰向けで寝ると痛苦しく、息を吸っただけでも痛みがある。動くとかなりの激痛（ズキズキ）があり顔色が悪い。食事はおかゆを摂取している。体温38.3℃、血圧157/90、脈拍98。既往歴は血圧とコレステロールの薬を飲んでおり、20代の頃に胆のうポリープの診断を受けたが、それ以来病院は受診していないとのこと。

症状から内科医師が担当し、症状からは急性胆のう炎・急性虫垂炎などが疑われた。腹部の激痛と発熱を認め、容態もかなり悪い状態であると判断。腹膜炎を起こしている可能性も考慮すると手術適応となる可能性が高く、至急下船して総合病院へ搬送することを指示した。

●第二通信受信：電子メール

その後、船会社を通じて海上保安庁へ通報し、海上保安庁の巡視船が現場へ駆けつけて応急処置を行い、ヘリコプターで病院へ搬送されたとの報告あり。

解説

当該事例では、内服薬に血圧とコレステロールの薬とだけ記載があったが、飲み合わせによる副作用などを考慮すると、他の既往症とともに薬剤名の明記や次の入港予定地と予定日などの情報もあるとさらに迅速な助言や判断が出せた。通信の第一信に通信文内容10項目の提示が望ましかった事例である。



例2 接触皮膚炎、自家感作性皮膚炎が疑われた事例

●第一通信受信：電子メール

23歳、男性、航海士。○月上旬から胸部周辺の衣服と擦れた部分に傷ができ、体液が出て湿疹が広がった。その後は右手の手首に虫に刺されたような痒みを覚え、掻いているうちに右手の指と両手首にも湿疹が広がった。食物アレルギーはなく、しいて言えば○月末頃から2日に1度程度マンゴーを食べたくらい。擦れたり汗が触れたりするとちくちくとした痛みがあるが眠れないほどではない。体温は35.8℃、その他体調の違和感はなし。食欲・睡眠共に普通とのこと。

このメールには患部の写真（胸部周辺、両手首、右手指）が添付され、処方に関する助言を求められた。症状から皮膚科医師が担当し、接触皮膚炎・自家感作性皮膚炎が疑われたため、胸部の不整形紅斑及び手指部の紅斑部にはリンデロンV軟膏を1日2回外用、そう痒が強ければ、オロナインH軟膏を1日数回併用、ポララミン錠（2mg）を1日1回眠前に内服するよう指示が出た。

●第二通信受信：電子メール

返信から約2時間後に本船から薬品在庫にオロナインH軟膏はあるが、その他の薬品が無いとの連絡があり、船の薬品リストと、リスト以外の手持ちの薬剤情報を送付してもらった結果、再び皮膚科医師からストナリニZジェルを1日1回就寝前に内服、オロナインH軟膏に加えてヒドロコルチゾン1%クリームを1日2回外用の指示が出た。

解説

当該事例では、通信の第一信に通信文内容10項目の提示が望ましかった事例である。船によって薬品在庫が異なるため薬品リストは第一信の際に添付した方がよりスムーズなやり取りができた。

また、良かった点としては、痒みや痛みの経過や患部の画像が添付されていたことである。特に外科系疾患の場合は画像情報は多い方が医師も助言や判断がしやすい。



★本書をコピーして通信書用紙としてご利用ください。

医療助言通信書

(通信の第1信に次の10項目をお知らせください。)

宛先

発信元 船名

船舶連絡先 TEL

FAX

mail

1. 会社名・船籍 (国名)	
2. 職種	
3. 氏名・性別	☐ 男 性 ☐ 女 性
4. 生年月日 (年齢)	年 月 日 (歳)
5. 発病時の状況	
6. 現在の症状、与薬、注射、処置内容、質問の内容 ☐ 内臓に関するもの ☐ ケガに関するもの	
①脈拍 /分 ②呼吸 /分 ③体温 ℃ ④血圧 / ⑤意識の状態 ⑥睡眠の状態 ⑦食欲の状態 ⑧排泄の状態 ⑨皮膚の状態 ⑩体位・姿勢	
7. 既往症	
8. 医療箱の種類、手持ちの薬剤名と量 ☐ 甲 ☐ 乙 ☐ 丙 ☐ 丁	
9. 次の入港予定地と予定日	
10. 緊急入港候補地と予定日 第一候補 第二候補 第三候補	

医療助言通信書（記入例）

（通信の第1信に次の10項目をお知らせください。）

宛先

発信元 船名

船舶連絡先 TEL

FAX

mail

1. 会社名・船籍（国名） 〇〇汽船株式会社（日本籍）				
2. 職種 機関士				
3. 氏名・性別 船保 太郎 ☒ 男 性 ☐ 女 性				
4. 生年月日（年齢） 1989年 12月 29日（35歳）				
5. 発病時の状況 全身に湿疹				
6. 現在の症状、与薬、注射、処置内容、質問の内容 ☒ 内臓に関するもの ☐ ケガに関するもの 汗が出にくくなり、熱い場所での作業を避けるべきか、放置すると症状が悪化するのか、 どのように対処すべきか、投薬は必要か 症状は重くなく、投薬・注射はなし				
①脈拍 68/分 ②呼吸 70/分 ③体温 36.5℃ ④血圧 139/80 ⑤意識の状態 あり ⑥睡眠の状態 睡眠は取れている ⑦食欲の状態 普通 ⑧排泄の状態 普通 ⑨皮膚の状態 湿疹が多数 ⑩体位・姿勢 普通				
7. 既往症 気管支喘息				
8. 医療箱の種類、手持ちの薬剤名と量 薬剤リストを添付します。 ☐ 甲 ☐ 乙 ☐ 丙 ☐ 丁				
9. 次の入港予定地と予定日 大阪港 5月20日				
10. 緊急入港候補地と予定日 第一候補 シンガポール 4月下旬 第二候補 フィリピン 5月初旬 第三候補 なし				